# 雄飛の滝線歩道

■行　　程　雄飛の滝線歩道入り口　駐車場 ～ 雄飛の滝線分岐2.3㎞
■所要時間　往復1時間50分

■行　　程　雄飛の滝線分岐点 ～ 雷霆の滝
■所要時間　往復約40分

## コース概要

四季折々と、美しい渓谷美を魅せるスッカン沢の流れは、やがて八方ヶ原を源流とする桜沢と合流し鹿股川となります。スッカン沢に沿うように遊歩道が延びています。新緑・紅葉に彩られた木々と岩肌が織りなす渓谷美を見ながら、手頃な距離と時間でいくつもの滝と見所も豊富な遊歩道です。

「八方ヶ原線分岐」より「雷霆(らいてい)の滝」・「咆哮霹靂(ほうこうへきれき)の滝」へ足を延ばして散策されるのもお勧めです。

特に、夏にこの遊歩道を散策されることをお勧め！太陽の光に注がれる木々の緑と、スッカン沢のせせらぎ、下流から吹き上げる涼しいそよ風が暑さも忘れさせてくれます。

## みどころ

【スッカン沢】
呼び名の由来…スッカン沢を流れる水は、場所によっては青白く見えます。これは、スッカン沢が高原山のカルデラ跡を水源とし、鉱物や炭酸等の火山の成分が多く含まれている水が流れているためです。そのためこの沢の水は昔、辛くて飲めないことから「酢辛い沢」等と呼ばれていました。この呼び方がなまって、今の「スッカン沢」となったといわれています。

【素簾(それん)の滝】
歩道の対岸の岩肌をいく筋にもなって流れ落ちる滝で、まるで白い糸が岩をおおいつくす簾(すだれ)の様に見えることから、「すだれ滝」とも言われています。

【仁三郎の滝(舞姫滝)】
滝を最初に見つけた人の名をとって「仁三郎の滝」と言われています。舞踏場のような滝つぼの上に流れ落ちる滝が、白いスカートをまとった乙女のように見えることから舞姫滝とも言われています。

【雄飛の滝】
岩に囲まれた薄暗い場所に差す一筋の光のように見え、夕日が暮れるのも忘れるくらい美しいと言われることから名前の付いた滝です。滝の上にある観瀑台からその流れを見ることができます。

【スッカン橋のカツラの大木】
樹齢は不明ですがこのカツラの大木は、塩原三恩人の一人である奥蘭田(おくらんでん)が明治23年に塩原温泉を世に紹介した「塩渓紀勝(えんけいきしょう)」という本の中で「蟒蝎桂樹(もうかつけいじゅ)」(大蛇のようなカツラの大木)としてふれられています。現在は見所の一つとして、この大木を巻くようにして遊歩道が整備されています。

【薙刀(なぎなた)岩】
スッカン橋を渡った先にある見事な岩は、その形から薙刀岩と名付けられました。この岩は、高原山の噴火で流れ出した溶岩が、冷えて固まる事でできる柱状節理という現象によって作り出されたものです。この歩道には薙刀岩のように、火山によって作りだされた見事な岩肌が多く点在し、観察することができます。


自然公園情報センター　塩原温泉ビジターセンター
〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原前山国有林
TEL･FAX0287-32-3050


◆公園マナーを守り、きれいな自然を楽しみましょう。◆